

# 警城時報

日刊 五十日 編輯者 石城郡 印刷部 印刷 電話 印刷部 電話 印刷部 電話

## 政民勢力伯中で 植田町長人選難 有給町長説は一蹴さる

石城郡植田町長佐川龜太郎氏辭月二十七日なるため、町長選挙任に伴ふ町長後任問題は政争劇を町議改選後とすれば職務専掌甚なる同町に於て町議十二名中を受け自治体の面目を傷ける事政民六對六の現状にある爲め、とて進退兩難に陥つてゐる、猶容易に決する模様も見えない、再度の協会は縣參事會の爲め過般の協議會に於て大平、渡邊、田中、出福中の黨の歸郷をまつて今豊田、古川の四氏を特別委員と月中開催の豫定である。

## 相當効果あつた 常磐炭送炭制限

常磐七大炭礦に於て下實行して制限を廢止するものと観測しつ、ある出炭、送炭の制限は今あるものがあるが、此制限を一月末日までに申合の實行期間がて以來常磐七大炭礦の貯炭は漸く減つたので二月十日頃石城郡湯次減じられ、制限開始當時二三本町松栢館に七大炭礦長會議を十通順あつた貯炭が現在では七開き協議を重ねる由である、目八萬噸に減少してゐる、殊に需する事となり家財道具を賣り拂脱院で行つたが多數の會葬者で下石炭の需要期に入つて居るの要期に入つて制限を廢止すれば

## 第四倉銀行の 有志株主總會

有志株主總會をあげて 銀行當局に肉迫 放漫なる貸出しのため遂に支拂不能となり結制拂ひ戻しによつて更生の道を講ずることになつた四倉銀行はその後整理につとめて来たが財界の不況並に姉妹會社と稱された平銀行の常銀合併により整理も思ふやうに進捗せず現在では全く苦境に陥つてゐるので一般預金者並に株主は少なからず迷惑を蒙つて居るので預金者株主間には種々後援を講じて来たが未だ具体化を見ぬため憤慨激起した一部株主はこの有志株主總會を同町一心學に開催三十余名の株主出席大要次の如き事項を以て會社當事者に交渉することに成り新妻盛氏外四委員を擧げたがその成行は注目されてゐる。

## 強慾非道の家主 人事相談所に保護願

東京府下吾嬬町字小村井自動車汽車賃が出来たと喜んでゐる處修繕職工壽郎妻後藤キキ(三三四)に家主大樂がやつて来て、六圓は祖父に當る門脇藤太郎(七〇)を入金しろと迫つた。余りの無が現在平町鎌田町大樂近松所有の言分に呆れた兩名は仲に入家を借りて住つてゐるが、數つた藤藤某と共に十六日平署人年前から中風症にかかつてゐる事相談所を訪れ保護方を願出でばかりでなく獨身なので氣の毒だが、平署では兩名に同情し大と思つて東京から態々引取りに樂を呼出し説諭の上前の約束を來た處、家主大樂は家賃二十三圓行せしむる事として解決した

## 組長當選 諸橋久太郎氏

石城郡内度量衡商組合の創立總會は十五日午後一時から平署樓上に開き役員改選の結果組長に諸橋久太郎氏が當選した。

## 河野江名町長 請負者に毆らる

河野江名町では同村小學校の改築をも町長を毆打し一週間の傷害計測し之が請負業者の入れを行を興へた。江名町では之れが計測した處、一萬六千圓を以て同町め急務町會を開き問題について請負業者鈴木仙松に落札したが、審議の結果河野町長は前記鈴木等から河野町長に指定入札を木に對し傷害罪の告訴すべく一入札とされたのを憤慨し去る七をなき問題の成行きを注目し日河野町長宅に暴れ込み無法にされてゐる。

## 年末年始 荒し廻つた大泥棒

被川署に捕はる 被川署に捕はる 被川署に捕はる

## 好間の火事

好間の火事 好間の火事 好間の火事

常磐七大炭礦に於て下實行して制限を廢止するものと観測しつ、ある出炭、送炭の制限は今あるものがあるが、此制限を一月末日までに申合の實行期間がて以來常磐七大炭礦の貯炭は漸く減つたので二月十日頃石城郡湯次減じられ、制限開始當時二三本町松栢館に七大炭礦長會議を十通順あつた貯炭が現在では七開き協議を重ねる由である、目八萬噸に減少してゐる、殊に需する事となり家財道具を賣り拂脱院で行つたが多數の會葬者で下石炭の需要期に入つて居るの要期に入つて制限を廢止すれば

ため新築委員は敷地の買収で目下土地所有者との間に交渉を重ねてゐるが大体敷地は一坪四圓一反少二千二百圓見當りで買収される見込で地主の大半は此相場で承諾してゐるので近く全部の買収が決定を見豫算が編成されるものと見られてゐる。

田村野田英穂氏は一昨年前明治大學法科を卒業し、郷里に在つたが今同法律學研究のため二ヶ年位の間で獨逸に留學すべく準備を急いでゐる。

近年末から新年にかけて石城郡定義(三三二)と云ひ十五日夜次城方に頻々として盜難事件があり、縣助川町で豪遊中を助川署に捕られた。報に接し署から猪狩田等各方面で三十余件の訴へに刑事が犯人引取りのため助川に出張したが被盜額千數百圓に達してゐる。

郡植田町磐東銀行は同地方金融の中心として財界大變動の異常期に際しても堅實なる營業を續け来る二十五日午前九時四十分より昭和三年下期決算總會を開催するが休業銀行續出の今期としては優良なる成績を示した

同村大字北好間伊藤幸太郎方よ十五日午前二時ころ發火し住家一棟を焼失し同二時半鐘火し家が損害三百圓、原因については目下所轄署で調査中であるが爐の殘火かららしい。

▲武田氏出發 東部電力株式會社營業所長から郡山營業所の營業課長に榮轉した武田精一氏は十六日午前九時二十五分平發列車で赴任したが官民多数の見送人があつた。

三大競技

平町で舉行

石城卓球協會主催第二回縣下ピンポン競技大會は二月三日午前八時から平町元石城郡役所に開く等で参加資格は男女共年齢に制限なく會費一圓、申込は一月三十日迄である。更に同協會主催第一回濱三郡卓球選手権大會は三月三日午前八時から平稅務署、平銀行の兩所で舉行と決定した。尚ほ石城郡オールドボーイスの競技は来る二十日午後一時から平銀行に於て舉行年齢三十歳以上である。以上三競技共申込場所は平町田町大塚運動具店である。

賀状片々

(三) あきら生

みかへれば  
みなはづかしき  
みちのあと  
みかけ けふより  
みをあらためて

床ぬちには顔の冷えた  
らす戸をうつ風の雪ふくむら  
し

田家朝  
片寄文狂

のつと日の出るや露家の梅か  
ほる  
鶯や賤が伏屋に朝を啼く  
詩に歌に嗟嘆は詠まる、春の  
朝  
府下に居を占めて朝々土いち

よし間 吉田 青柳子  
みたらしに雲鏡光る初詣  
初日射す開け放したる山家哉

棚倉 佐川 有頂天  
磯松の寒がる顔に初日の出

チクノール 鼻の藥  
平五 山野邊藥局

ハガキ集

(投書歓迎)

▲出し抜けにこんな事を書きま  
して許していただきます。私  
は平町に住むものですけれど  
も、先日一寸とした用事のた  
めに福島炭礦まで行きました  
其の時、行く途中は皆様お存  
じの田舎ではございますけれ  
ども公德箱と言ふものを置き  
ましてそれにガラスのかけら  
とか、危険なものを入れる箱  
を見ておどろいてしまいました  
た、平町には公德箱はありまし  
てもそんな公德箱がないもの  
です。それから大目だまですし、  
田舎よりも平では是非必要だ  
と思ふたものですから一寸こ  
のがき集をかりました。皆  
様如何でございますか(さみ子  
▲何を言つたつてカフエーの女  
給にもてるのは自動車運轉手  
だよ。女給に惚れられたい人  
は運轉手になるに限る(個嬢  
子)  
▲毎日田町某寫眞館前の窓を眺  
めてある女の寫眞に見惚れて  
ゐるのは誰です?仲間町から  
通ふのも随分ひどいぞ(×  
生)

鳥御料理  
よせなべ類  
天井  
仕出しは迅速配達致します  
平町南町平館隣り  
電話四二四番

共同貯蓄  
融金ノ易  
蓄貯ノ味  
堅ト意誠

内科 専門  
十二指  
腸虫病  
婦人病  
皮膚病  
院病村松

驚いた!!!  
平・加納活版所の印刷物

防寒具の御用意は!!!  
トインバビ  
オチリ  
モチリ  
なにかや洋服店  
平町二丁目(電二〇三)

外科 専門  
X光線科  
上田外科醫院  
平町南町  
電話一二九番

盛美酒眺月  
瓶詰  
平町四丁目平驛通り  
永山酒造店小賣部  
電話二〇七番

鎮咳液  
セキの薬  
法痰  
特約店  
局薬内關  
番〇四話電 目丁四町平

中風靈藥  
定價 一週分 九〇  
三週分 一七〇  
五週分 二五〇  
男女中風症、腦溢血、動脈硬化症、逆上引下げ、頭痛  
言語難澀、半身不隨、其他中風より起る諸症に偉効を  
奏す。是非御試用を勧めむ。  
代理店 平町五丁目角 山野邊藥局

滋養、強壯劑として愈々好評  
偉大なる藥酒 栗守酒  
朝の一盃は精力の根原、晩の一盃は睡眠の助力  
栗守酒特約店 大平屋藥店  
代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目一電六四三

大川 端夜話  
原作木村恵吾 監督伊奈精一 主演小杉勇、澤蘭子  
芝生れて神田で青つ、魚屋正吉の花柳夜話  
大日活代表傑作寶玉篇 總指揮池永浩入 監督池田富保  
主演山本嘉一、河部五郎、大河内傳次郎、尾上多見太郎  
新作 水戸黄門

良品廉賣に勝る商賈なし!!!  
磐城セメント會社特約店  
和洋銅鐵  
釜屋商店  
金物問屋  
磐城平 電話一九三九番

息正儀送葬の際は遠路態々御會葬被下且  
つ御香奠を賜はり奉深謝候乍略儀以紙上  
御禮申上候  
一月十六日 酒井國三郎